



Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：田中進一郎
■幹 事：高橋 秀治
■会報委員長：近藤 俊也

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第2696回 例 会 (H 2 9 . 5 . 2 3 火 晴 れ ！)

点 鐘 田中 進一郎会長
R . S それでこそロータリー 四つのテスト
幹事報告 高橋 秀治幹事
1) 会報受信クラブ 愛知長久手 可茂
2) 下記クラブは法定休日又は定款による休会です

ニコボックス (梅田佳和委員)
本日の投函金額 7,000 円

副 会 長 挨拶 (岡田雅隆副会長)

クラブ名	例会日 (曜)	クラブ名	例会日 (曜)
瀬 戸 北	5月30日(火)	愛知長久手	5月30日(火)
名古屋城北	5月30日(火)	瀬 戸	5月31日(水)

下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日 (曜)	場所 (変更理由)
岡 崎 南	5月30日(火) →6月 3日(土)	(自然科学研究機構岡崎三 研究所交流バークユー例会)
尾 張 中 央	5月31日(水) →5月28日(日)	(北名古屋市 コミ0運動参加)



☆臨時パスト会長会議のご案内

本日、例会終了後 13：40 よりみやびの間において
開催

☆第5回クラブフォーラムのご案内

日時：6月13日(火)会議 18：00／懇親会 19：00
場所：あじか

出席報告 (丹羽敬昇委員長)

出席率 82.00%

会員 56名 出席 41名 欠席 15名

欠席者 藤井友喜君 福富孝弘君 河田敏和君
紀藤政司君 大海敏道君 祖父江寿男君
鈴木一成君 塚原義成君 宇佐美芳樹君

前例会の修正(5/16分)

紀藤政司君(5/16eCLUBONE)河田敏和君(5/11 可児
RC)松山基邦君(5/18eCLUBONE) 宇佐美芳樹君
(5/21eCLUBONE)谷定貴之君(5/12 第6回地区社会奉
仕委員会)山田直廣君(5/15eCLUBONE)

以上 87.76%を 100%に修正

前々例会の修正(5/9分)

宇佐美芳樹君(5/21eCLUBONE)

以上 98.18%を 100%に修正

祝 福 (板津英基委員)

おめでとうございます！！

会員誕生日 岡田 雅隆君

結婚記念日

小川宏嗣君夫人

生涯で初めての会長挨拶をさせていただきます。些か緊張しております。

本日の話題はみなさまご承知 2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックについてお話をさせていただきます。

東京五輪大会組織委員会は先月「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」をスタートしたと報道されました。

NTT ドコモやプロジェクトに参加する全国の自治体を窓口とし、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機など小型家電の回収を始め、先行して始めていた東京都ともあわせて、リサイクルした金、銀、銅でオリンピック、パラリンピックのメダル5千個を作るプロジェクトです。

メダルに必要な数量は、ロンドン大会の実績で金が10kg、銀1230kg、銅736kgが必要数量で、実際にはメダル作成時の歩止まりも考慮すると、これの4倍くらいの量を必要としており、2019年春までに金銀銅合計で8トン集める計画だそうです。

なぜこんなプロジェクトが発足したかは、五輪のメダルを都市鉱山からリサイクルした金銀銅を使うことによって広く一般の人に都市鉱山の存在を知ってもらいきっかけになればと言う事で始まったそうです。

日本の都市鉱山に眠る金は6800トンと世界の埋蔵量の16%、銀は約6万トンで22%に当たる量が存在しているそうです。国別の埋蔵量としては世界一の量

を埋蔵しており、銅も8%の3800万トンが存在し、世界2位につけているそうです。

都市鉱山の埋蔵量から見ると日本は世界有数の資源国なのです。

ただしリサイクルの分野では、鉄やアルミ、銅といった産業分野で大量に使用される金属は回収してリサイクルされる市場が確立されているが、産業的に重要でも使用量の少ないレアメタルやレアアースなどのリサイクルの技術開発や市場整備が整っておらず、2013年には小型家電リサイクル法が施行されたが、テレビのような大型電気製品に比べて伸び悩みの現状。

結果、小型家電をリサイクルして資源を回収するよりもレアメタルを産出している国から買って来た方がコストが安くつき、日本の都市鉱山は益々貯まる一方だそうです。

金の場合、携帯電話1台に含まれる割合は0.03%程度あるそうです。一方自然の鉱石1トンから採れる量は3g~5gで割合は0.0003%程度しかありません。また掘った大量の鉱石はごみとして捨てられ、地球環境には悪影響をあたえている悲しい現状があります。

今回のこのオリンピックのメダルを都市鉱山から作る事により、企業はもちろん、一般市民を巻き込んで認知されればリサイクルの意識も高まり、リサイクルコストも下がる事になるでしょう。資源の無い国日本が資源国に変わる日が来るかもしれません。

今日はオリンピックにまつわる話をさせて頂きました。みなさんご家庭の机の引出しの隅に以前使っていた古い携帯電話はありませんか？是非ともリサイクルに回して下さい。



その他委員会報告

◎次期青少年奉仕委員会（安田一生委員長）

失礼します。次期青少年奉仕委員会委員長を務めさせて頂きます、安田一生です。宜しくお願い致します。本日から受付を設けさせて頂きましたが、台湾草屯ロータリークラブとの第32回青少年海外交流事業を8月11日(金)~8月15日(火)で予定をしております。6月8日から草屯へ最終打ち合わせに行きますが、その時には交流事業の参加人数を把握して草屯へ伺いたいと考えておりますので、ご参加の可否をご検討ください様お願い申し上げます。以上です。

◎社会奉仕委員会（谷定貴之委員長）

今月の17日に地区の社会奉仕委員長会議が開催されました、そこで2760地区の社会奉仕委員会の活動報告が行われました。

交通安全と云う事で、長年に亘って実施されておりますシートベルト・チャイルドシート関所、治安活動関係者表彰式、これをメインに発表させて頂きました。また、社会奉仕委員会ですので、大判タオルの贈呈、ポタリングクラブとの提携による地区の補助金事業について発表させて頂いたんですが、歴史と伝統と云う事で他のロータリークラブの発表者の方が犬山には及びませんがと云う事で、コメントを頂きまして、最終的にガバナー賞受賞と云う事になりましたので、皆様にご報告させて頂きます。

今後とも新しい活動も入れなくてはならないと思いますが、昭和48年くらいからずっと続いております事業は、私が12歳のころからという、それくらい長い活動ですから、それを今後も継続していきたいと思っております。



◎会員増強委員会（吉田 洋委員長）

本日例会後、実行委員会の皆さまにはそのまま会場に残っていただき、会員拡大実行委員会を開催します。よろしくお願いたします。



2017~2018年度のための地区研修・協議会報告②

(原 正男次期幹事)

◎第5分科会（職業奉仕） 真野健二 次期副幹事

テーマ：クラブでの職業奉仕



- ・ロータリーの「職業奉仕について」(DVD)鑑賞
- ・ロータリーの職業奉仕について卓話
次期地区研修委員 太田達夫さん
- ・分区ごとに意見交換

職場例会

メンバー職場訪問・取引先職場訪問
病院・警察・自衛隊・障害者施設・給食センター・ゴルフ場訪問
ラグーナ蒲郡バックヤード見学
座禅会
血液検査

表彰

警察・消防のほかにNPO・病院・福祉関係従業員の方

- ・最近の職業奉仕について
次期職業奉仕委員長 匹田雅久
- ・講評 次期ガバナー補佐 横山明巳

「職業奉仕とは商売繁盛の秘訣」

—自分の商売を繁盛したけりや

- 1.一生懸命お客様に尽くしなさい
- 2.その精神を自分の職場に広めることに励みなさい
- 3.同業者は勿論のこと、異業者の世界にも広げること
これがロータリアンの責務であり、これが職業奉仕の全てです。

「自己の職業を通じて社会に奉仕する」

◎第6分科会（ロータリー財団）

松平實胤 次期ロータリー財団委員長

テーマ：ロータリー財団 101年目を迎えて



第6分科会、ロータリー財団部門の報告をさせて戴きます。

昨年11月5日6日とウエスティンナゴヤキャッスルで地区大会が開かれましたが、またロータリー財団創立100周年ということで、ロータリー日本財団理事長千玄室氏の記念講演をはじめとする記念のイベントがありましたことは皆様の記憶に新しいと思います。

そこで次年度のテーマは「ロータリー財団101年目を迎えて」ということで、次期ロータリー財団委員会副委員長佐々木久直氏の「開会の辞」でセミナーが始まりました。

次期ロータリー財団委員会委員長の中村公彦氏から、「100年前の1917年に、28ドルあまりの寄付金で誕生以来「世界でよい事をしてきた」ロータリー財団は100周年を迎えた現在では財団資産は10億ドルに達している、次の新たな100年に向かって財団の標語である「世界でよい事をしよう」のもとで、「人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する」という財団の使命をしっかりと果たしていこうという次年度テーマについて力強いご挨拶を戴きました。

続いてこの財団の崇高な理念に共感し、財団の活動を支えて下さる皆様からのご寄付については、3年後の活動資金として、全額が厳正に有効に使われるので、寄付ではなく皆様の奉仕事業への貯金と考えて戴き、一人当たり150ドルをお願いしたい旨を。また各クラブで、将来の財団プログラムを確かなものにするための恒久基金、更に大口寄付メジャードナーの要請もお願いしたい旨。またそれぞれの寄付行為の税制上優遇措置がある旨の説明、更にはクレジットカード・プログラムの利用向上、具体的にはクラブの経費や支払いにクラブカードを利用することで、利用額の0.3%が自動的にポリオ撲滅の活動資金になる旨を強調されました。

続いてその基金を振り分ける補助金担当委員長から、地元で生じたニーズに迅速にこたえる地区補助金と国際プロジェクトを支援するグローバル補助金の説明、並びに補助金の申請及び報告書の留意点をお示し戴きました。

続いて当犬山クラブより出向されている加藤浩一次期ポリオ・プラス/VTT担当委員長からはロータリーの最優先活動であるポリオ撲滅について、その思いを熱く語られ大変感動いたしました。

また奨学基金・平和フェロウシップ担当委員長よりは奨学生の募集並びに応募についての説明がございました。

最後に資金管理担当委員長から、世界の平和と人々の生活をよりよくするという崇高な使命に賛同されて集まる寄付金はまさに公金、各クラブ（会員）が公金

である財団の補助金を申請通り有効に活用されているか、悪用不正はないかを厳重にフォローしている、従って、年次基金等の寄付は目標達成のために間違いなく100%厳正かつ有効に使われていることを強調されました。

最後に次期地区副幹事清水順二氏よりセミナーの講評があり、

次期副委員長中村正人氏の閉会の辞にてセミナーは終了しました。

以上のセミナーを受けての私の感想ですが、「ロータリー財団は世界で一番信頼される寄付の管理人」といわれそうですが、まさに当を得ていると思いました。そこで、皆様には11月のロータリー財団月間に、お一人年次基金150ドルをお願いいたしますが、以上の経緯をご賢察いただき、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第7分科会（青少年奉仕）

安田一生 次期青少年奉仕委員長

テーマ：青少年奉仕活動をよりよく理解し実践しよう



地区研修・協議会 第7分科会青少年奉仕部門に出席しましたので、内容のご報告をさせていただきます。

まず、リーダー挨拶としまして、岡田雅隆次期地区青少年奉仕委員長のご挨拶を頂きました。そして地区青少年奉仕委員会の活動方針を示されました。「青少年奉仕活動をより良く理解し実践しよう」というテーマでロータリーの青少年奉仕の歴史をお話頂き、次期地区青少年奉仕委員会の活動として「地区青少年奉仕会議（青少年サミット）」の開催、また地区事業である「ワールドフードふれ愛フェスタ」へのチャリティーバザーブースの出店や場内清掃、5月の青少年奉仕月間では地区内84RCの皆さまに青少年奉仕活動をより良く理解し実践して頂くために「地区内クラブ青少年奉仕委員会会議」の開催を考慮しておられました。そして神野ガバナーの方針「ロータリーファミリーとの連携強化」に基づき、青少年奉仕委員会はRYLA委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、この4委員会の活動に協調し総合力を高めて青少年の健全育成を目的に1年間尽力する覚悟を話されておりました。

次に地区インターアクト委員会の活動方針では佐藤委員長よりインターアクトクラブの歴史、概要のお話があり、インターアクトクラブの目的として奉仕活動を通じて指導力と人としての高潔さ、他者を助け、他者を尊重することの大切さ、個人の責任や懸命に努力する価値観の大切さ、国際理解と親善を推進することの重要性について話がありました。現在2760地区内には17のインターアクトクラブがあり総勢551名のインターアクターが日々ボランティア活動をされており、地区インターアクト委員会としては地区内のインターアクトクラブの更なる活動の活性化の為、情報提供と環境づくりに努め、10月に当地区で開催される全国インターアクト研究会を良い機会として当地区のインターアクトクラブの活動発信、他地区との情報交換

などインターアクトクラブの更なる活性を目指すと話されています。

次に地区ローターアクト委員会からはローターアクトクラブの歴史、現状のお話がありました。ローターアクトは18歳から30歳までの青年が中心となって活動しております。当地区のローターアクトの活動は大変活発であり、国内外に研修や交流の輪をあげ、各事業の内容の充実さは他地区からも一目置かれる存在となっているようです。しかし、ローターアクトに直接関わりのないクラブが約半数あり、その活動の認知度不足、理解不足が課題となっており地区ローターアクト委員会としてはロータリアンとアクトが共同奉仕を行うことの意義を皆様にお伝えし、そして「ロータリアンは青少年の模範」という理念の下、各クラブの皆さまに設立の可能性の検討のお願いとローターアクトクラブのサポートに全力で取り組まれるとのことでした。

地区RYLA委員会からは「心の燈をともしよう」というテーマから瀬戸ロータリークラブをホストクラブとして第26回地区RYLAセミナーの開催、日本RYLA派遣、アジアパシフィックRYLA派遣を中心に若き青年に「ロータリーの理念」を理解してもらおうと同時に将来への「より良き社会」を目指すリーダーの育成、「ロータリーの理念」と同様に人に関心を持ち、相手の身になって考え、幸せを願う奉仕の精神に関心を持っている青年の為、青年のサポートに尽力すると話されています。

地区青少年交換委員会は青少年を交換する事業の歴史、現在までの推移のお話があり2017-18年度では派遣候補生が9名確定しており、夏の出発に向けて研修を行ってくださるそうです。また従来からの傾向としてホストクラブに偏りがあり、少しでもこの偏りが解消できるようにサポートをしていきたいと話されています。ロータリーの目的の一つである「世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」と青少年交換プログラムは一致する大変素晴らしい事業と考え、本年も一層尽力するとおっしゃっています。

そして、地区危機管理委員会からは7月に危機管理の研修予定と危機が発生した場合のフローの説明後、次期研修委員会奥田委員長の講評があり、第7分科会は閉会となりました。最後に今回、地区研修・協議会に出席させて頂きまして、一部ではございますが地区の活動方針を聞くことが出来、ありがとうございます。以上で地区青少年奉仕部門の報告とさせて頂きます。

◎第8分科会（米山記念奨学）

野村憲治 次期米山記念奨学会委員長

テーマ：未来へ向かって、世界平和への架け橋になろう



次期米山記念奨学会委員長、米山奨学生 シュレスタ・アショクさんのカウンセラーとしてご任命頂きました。初めてのことに尽くしてはありますが、ご迷惑・不手際なきよう努力・精進致します。皆様、ご指導・

ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

まずは、4月22日に出席しました「地区研修・協議会」の中で心に残っていることをお話させていただきます。

私は「地区研修・協議会」の中の、2620地区パストガバナー高野孫左エ門様の特別講演に感銘を受けました。

私達ロータリアン1人1人が仕事や地域社会に役立つ努力・協力をし、自分の為ではなく、誰かのため・地域社会のための活動を継続する中で、心の豊かさを感じる事が大切であるというお話でした。

世の中には、変えてはならないモノ「不易」と変わっていくモノ「流行」があります。

ロータリーの哲学・精神の基本が揺るぎないものであれば、「流行」という変化に振り回されることはないと思います。振り回されなければ、それは時代や環境の変化によって革新される新風となります。

私は「超我の奉仕」「奉仕哲学」にしっかり根ざした活動を持続し、心の豊かさを感じながら、「ロータリーを楽しみ」ながら邁進していきたいと思っています。

米山奨学事業創設時のロータリアンの思いは「今後日本の生きる道は平和しかない。それを世界に理解してもらうためには一人でも多くの留学生を迎え入れ、信頼関係を築く事。それこそがロータリーに最もふさわしい国際事業ではないか。」というものでした。

今年度は2760地区は史上最多の49名の奨学生となりました。今や留学生を支援する、民間最大の奨学事業となっております。「民間外交として世界に平和の種をまく」という米山奨学事業の使命は現在も一貫して変わらず続いています。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、未来へ向かって平和の架け橋をかける尊い事業であります。

アショクさんの「研究計画書」には「日本と母国ネパールの交友関係を広げるために、両国の架け橋になりたい。」「日本の貿易や観光対策について学習したい。」と書かれています。私は思いやりを持ってアショクさんをサポートし、対応する中で異文化・国際交流に関して私の方も彼から学んでいけたらと思っています。

5月27日(土)に「春季米山奨学生学友合同研修会」の名古屋港水族館見学が企画されております。当日は「地域と生きる名古屋港水族館の魅力」というテーマで館長が講演して下さいます。海洋生物学のパイオニアである館長の講演を聴いて、シュレスタ・アショクさんが何かを感じ、感銘を受けてくれたらと思っています。アショクさんからも地域社会からも「信頼」「好意」「期待」を得られるよう日々努力して参ります。

第9分科会（新会員研修）

テーマ：ロータリーをもっと知って楽しもう

*第9分科会は欠席いたしました

（原 正男次期幹事）

第10分科会ですが、真野副幹事の紹介で創作おでん居酒屋「那古野サルーン」で美味しいものに舌鼓を打ちながらお酒を酌み交わし、大変有意義な時間を過ごせました。吉田次期会長を囲んで次年度に向けて熱く語り合いました。

以上をもちまして、地区研修・協議会の報告を終わらせていただきます。皆さま、次年度どうぞよろしくお願い申し上げます！